

2020年3月4日

Ver. 3

鋼鉄商事株式会社

『どこでも光窓』施工マニュアル

目次

ページ

1. 安全上・施工上のご注意	3
2. 施工される方へ（標準部材）	4
3. 標準ダクト寸法図	5
4. 施工手順	6
5. お問い合わせ	11



※工事をされる方へのお願い

この施工説明書は、施工作業者が正しく安全な施工をするために必要な手引き書です。
施工開始前に必ずお読み下さい。



1. 安全上・施工上のご注意

※必ずお守りください

この説明書に使われているマークには以下のような意味があります。

 警告	この表示項目は、死亡または重症などを負う可能性が想定されます。
 注意	この表示項目は、障害を負う可能性、または、物的損害が発生する可能性が想定されます。

・お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告



ダクト本体を運搬・設置する作業は、2人以上で行ってください。



ダクトを設置する作業は、足場の良い場所にて行ってください。

注意



本製品は、足場の良いところに置き、倒したり、投げたりしないでください。



本製品の上に乗ったり、本製品に荷重をかけたりしないでください。



本製品のボルト止め箇所は、全て確実にねじ止めしてください。



本製品に貼ってある保護フィルムは、必ず取って設置してください。



本製品の設置位置は、同梱されている図面の位置に設置してください。



密閉用の透明アクリル板には、指定以外のアクリル板を使用しないでください。

2. 施工される方へ

※どこでも光窓は、採光部に設置するトップライト（天窓）が別途必要です。

①ダクト工事上の注意

- ・ダクト工事は、この施工指示書に従って工事を行ってください。
- ・採光部に設置するトップライト（天窓）別途メーカーの施工説明書に従って専門の業者が工事を行ってください。

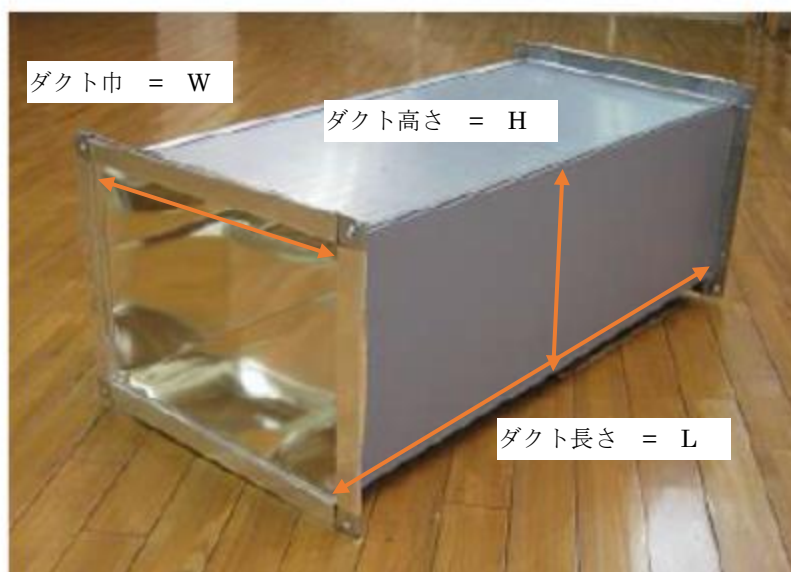
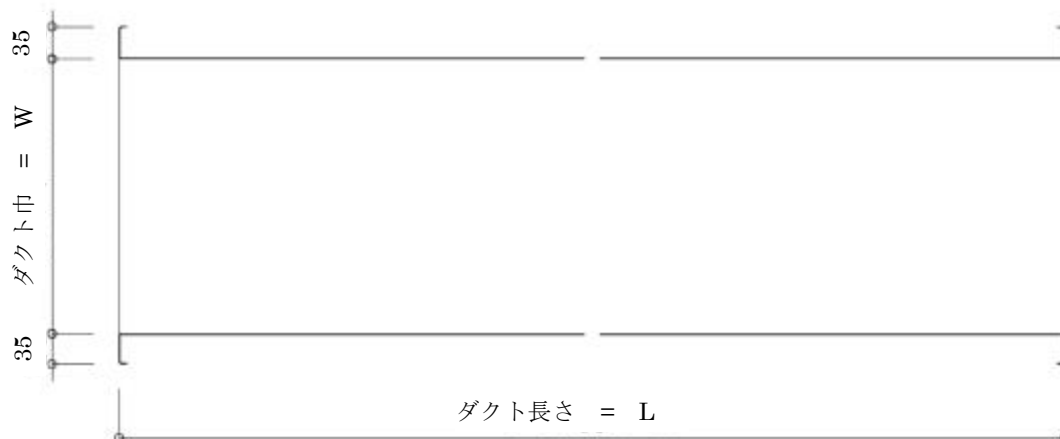
②同梱付属材

- ・ 図面
- ・ 明細書
- ・ ダクト一式
- ・ 密閉用アクリル板（透明）
- ・ 放光部用アクリル板（乳白）
- ・ 接続ボルト
- ・ 接続パッキン
- ・ 放光部枠
- ・ アルミテープ
- ・ 施工説明書（本書）

3. 標準ダクト寸法図

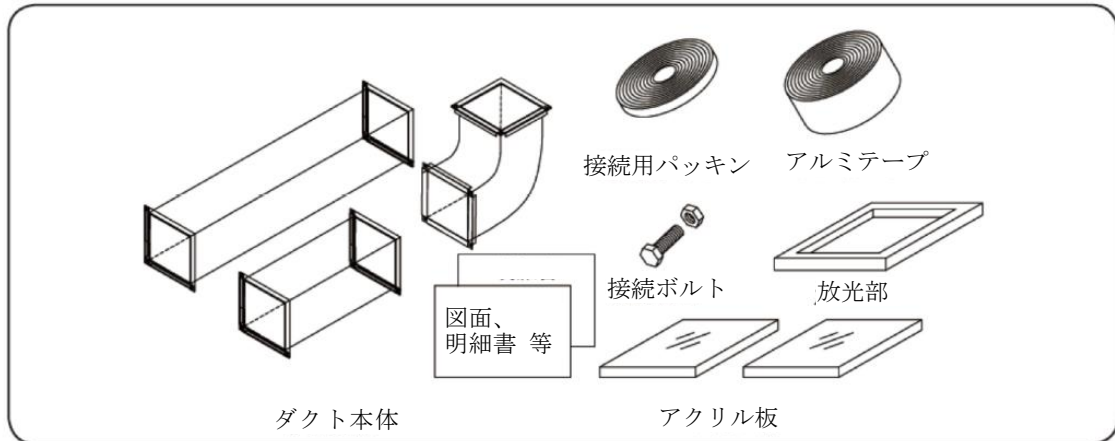
※邸別にピッキングされ出荷されます。(単位：mm)

■ 矩形ダクト寸法

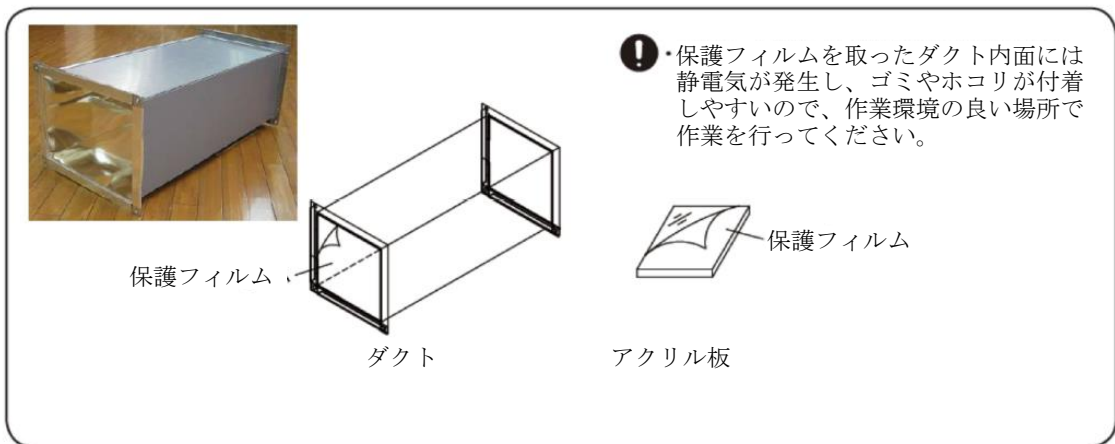


4. 施工手順

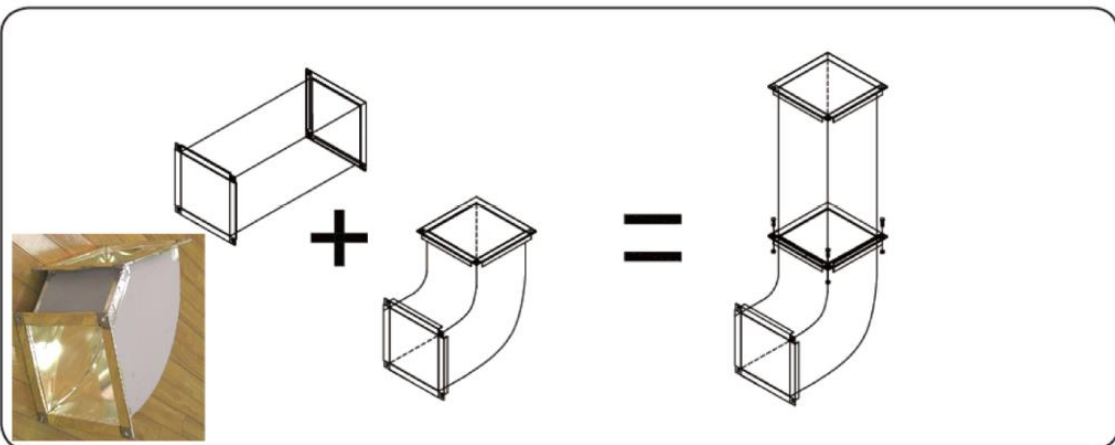
①光窓商品到着後 明細書と照らし合わせて確認してください。



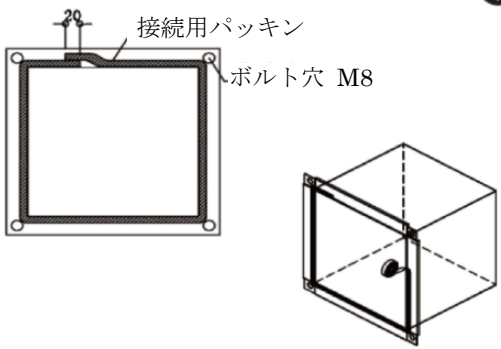
②ダクト鏡面・亚克力板の保護フィルムを取ってください。



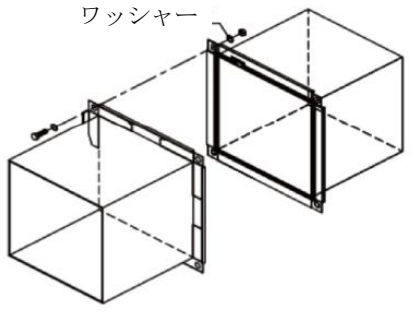
③施工可能な大きさに仮組みを行ってください。



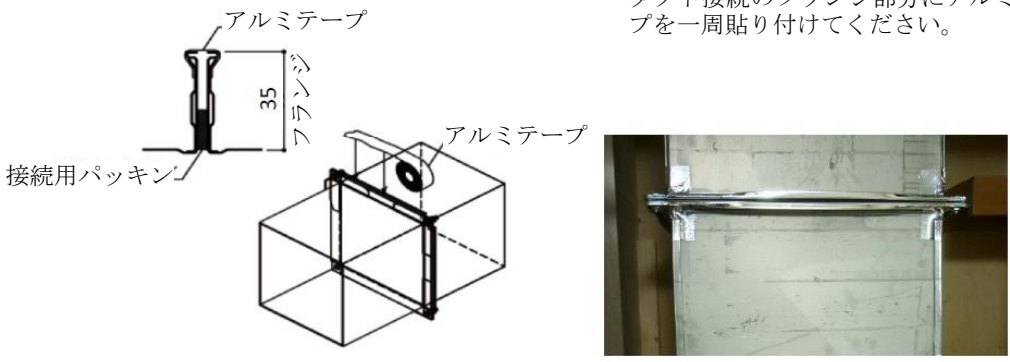
※ダクト接続時の注意点



- ❗ 接続用パッキンの貼り付けは、フランジ中心よりダクト内側に行ってください。
- 接続用パッキンの継ぎ目は、可能な限りコーナー部を避けた箇所で20mm以上オーバーラップさせてください。

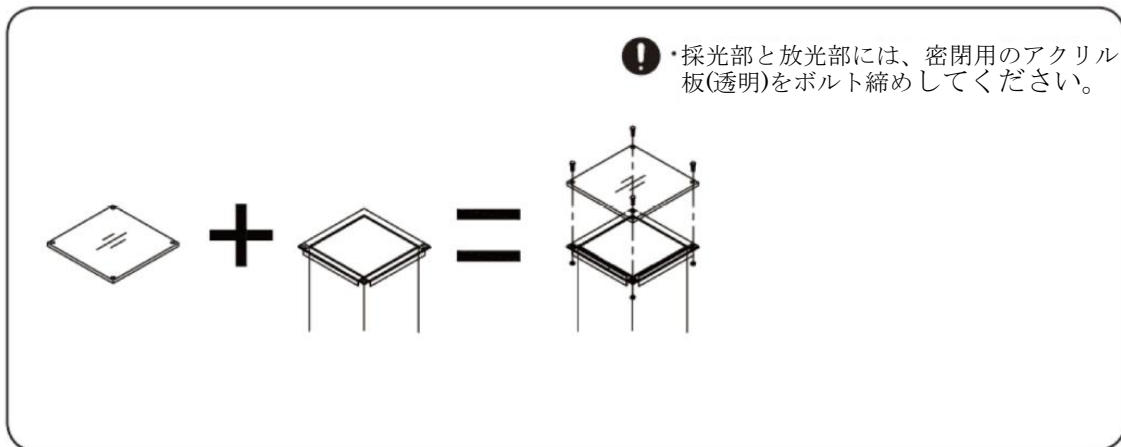


- どちらかにパッキンを取り付けたダクトのフランジ面を張り合わせ、ボルト締めしてください。その際、ワッシャーを必ず入れてください。
- ❗ ダクト内側の透明保護シートを必ず取ってから接続してください。
- 保護フィルムを取ったダクト内面には静電気が発生し、ゴミやホコリが付着しやすいので、作業環境の良い場所で作業を行ってください。

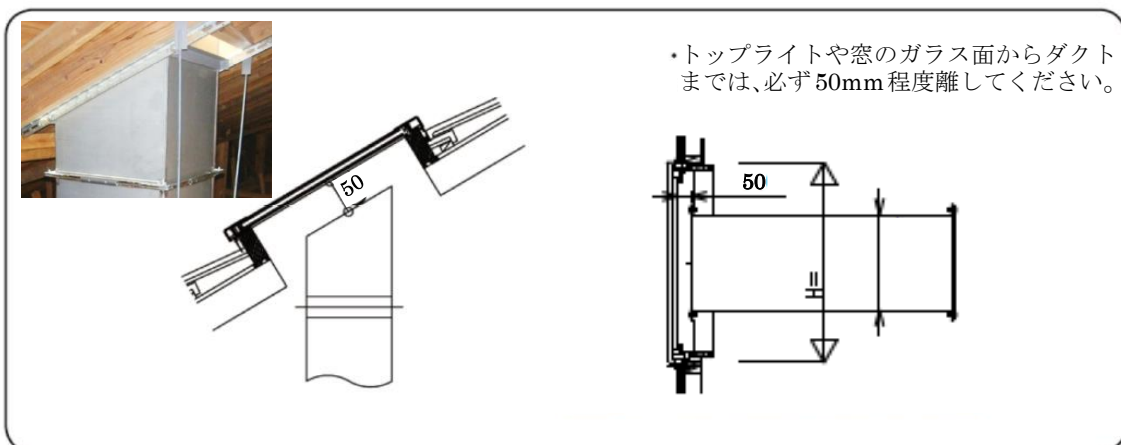


- ダクト接続のフランジ部分にアルミテープを一周貼り付けてください。

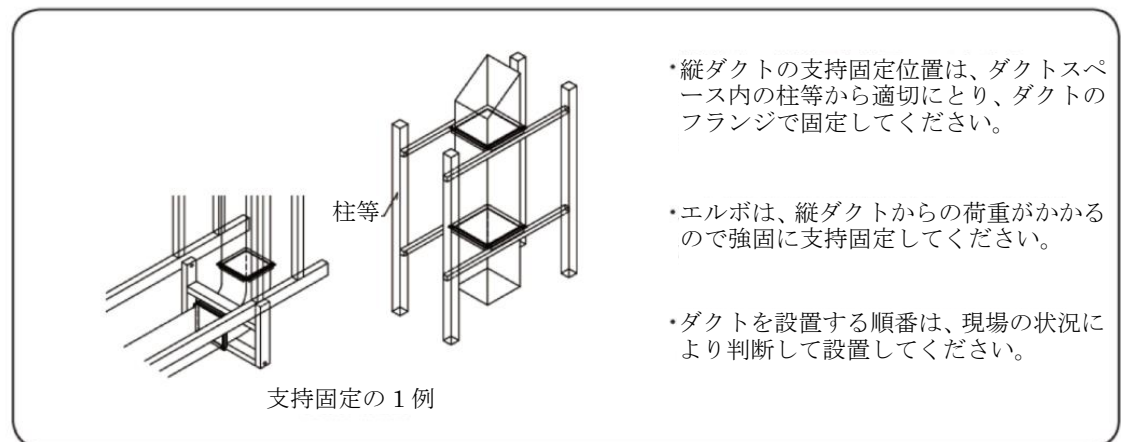
- ④ アクリル板をダクトに取り付けてください
 (出荷時に取り付けられている場合は省略してください。)



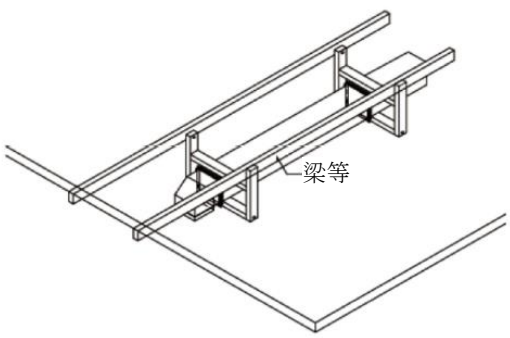
- ⑤ トップライトや窓から 50mm 程度離して、ダクト位置を固定してください



- ⑥-1 縦ダクトの場合は、次の通りに支持固定を行ってください。



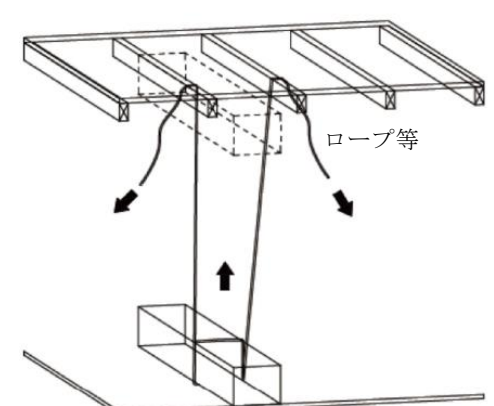
⑥-2 横引きダクトの場合は、次の通りに支持固定を行ってください。



支持固定の1例

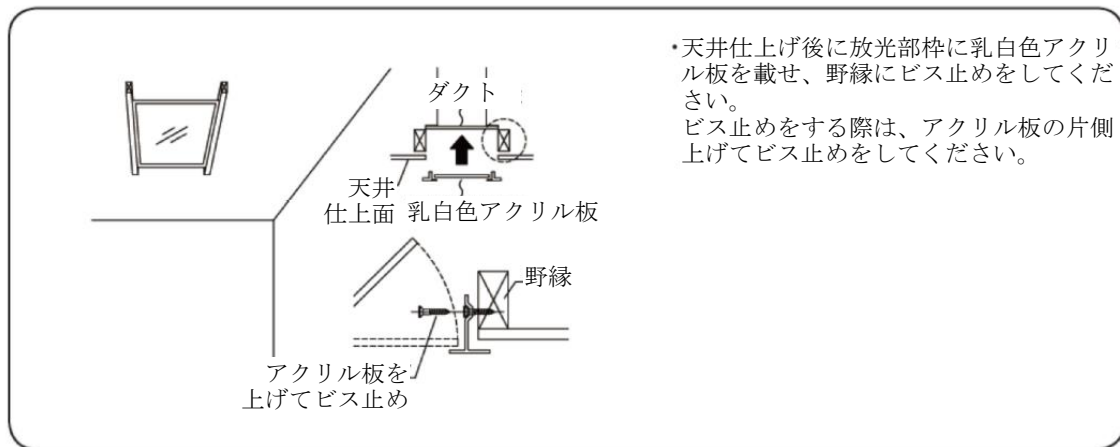
- 横引きダクトの支持固定位置は、梁等から適切にとり、ダクトのフランジで固定してください。
- ダクトを設置する順番は、現場の状況により判断して設置してください。
- 支持固定部にゆらみやグラつきが内容に設置してください。

※支持固定時の施工例



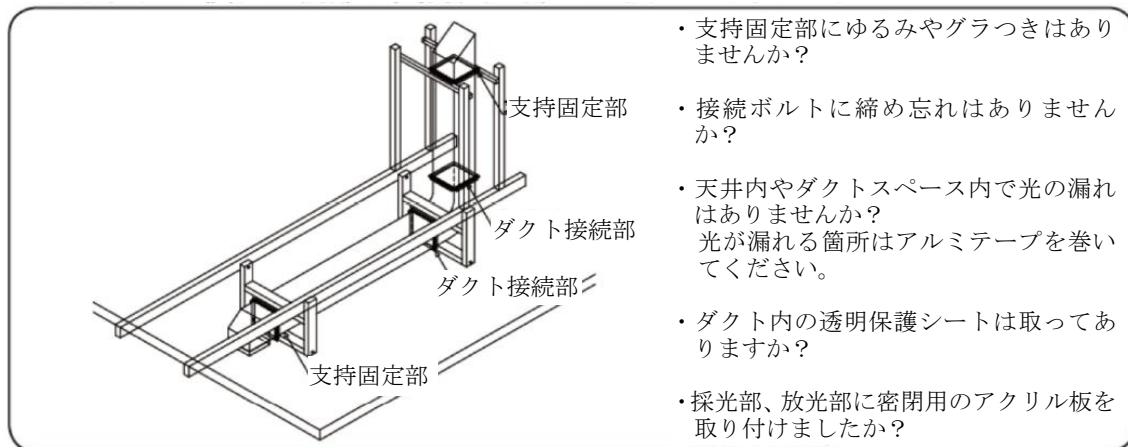
- 横引きダクトを天井内に持上げ支持固定する際は、梁を利用して固定する位置までロープなどで引上げ、ロープを固定し、支持固定用の支持材を設置してください。

- ⑦天井仕上げ後に放光部枠の取り付けを行ってください。
 (下記以外の放光部を施工する場合は省略してください)



- ・天井仕上げ後に放光部枠に乳白色アクリル板を載せ、野縁にビス止めをしてください。
 ビス止めをする際は、アクリル板の片側上げてビス止めをしてください。

- ⑧設置完了後、接続部や支持固定部の点検をしてください。



- ・支持固定部にゆりみやグラつきはありませんか？
- ・接続ボルトに締め忘れはありませんか？
- ・天井内やダクトスペース内で光の漏れはありませんか？
 光が漏れる箇所はアルミテープを巻いてください。
- ・ダクト内の透明保護シートは取ってありますか？
- ・採光部、放光部に密閉用のアクリル板を取り付けましたか？

5. お問い合わせ

本マニュアルに対してご質問等がありましたら、下記までご連絡をお願いします。

鋼鉄商事株式会社

建材事業部 エコハウスグループ

〒141-0022 東京都品川区東五反田二丁目 18 番地 1 号 大崎フォレストビルディング

Tel: 03-4531-6883 Fax: 03-3280-8161